

あぶくま信用金庫
企業版ふるさと納税 贈呈式



↑太田理事長(左)より寄附を受ける遠藤町長(右)

3月1日(火)、広野町役場全員協議会室において、あぶくま信用金庫 太田福裕理事長より企業版ふるさと納税としての寄附金50万円ならびに同信金が2年ぶりに改訂、発行した相双地方の魅力を紹介するガイドブック「福相双」40冊を広野町に寄贈いただきました。贈呈式で太田理事長は、「平成28年に締結した地域密着総合連携協定に基づく取り組みとして災害に強い社会実現に役立てていただければ幸いです」とあいさつしました。

ひろのてらす6周年
「春を告げるセール」を開催



↑6周年を記念してテナントのみなさんにあいさつをする遠藤町長

3月25日(金)、イオン広野店をキーテナントとした公設商業施設「ひろのてらす」がオープン6周年を記念してひろのてらす6周年「春を告げるセール」を開催しました。買い物をはじめ、交流、憩いの場として多くの皆様にご支援とご愛顧をいただき、震災から11年を迎える令和3年3月に、オープン6周年を迎えることができました。オープン6周年を記念して、来場者に移住定住に関するパンフレットや広野町のPRグッズを手渡しました。

広野町ゼロカーボンビジョンを策定



↑遠藤町長(右)に報告書を手渡す永井准教授(左)

町は、3月22日(火)、脱炭素社会の実現に向けた基本方針となる「ゼロカーボンビジョン」を策定しました。有識者らでつくるゼロカーボンビジョン策定委員会の委員で早稲田大学環境総合研究センターの永井祐二准教授が役場を訪れ、遠藤町長に基本方針に関する報告書を手渡しました。町内の年間電力消費量の100%相当を2030年までに再生可能エネルギーで発電する目標を掲げ、ビジョンの実現に向け取り組んでいきます。

東日本大震災追悼献花を実施



↑サイレンとともに黙祷を捧げる参列者

3月11日(金)、東日本大震災から11年となり、震災で尊い命を亡くされた方や未だ行方不明のままとなっている方に対し、震災記念公園にて追悼の献花を行いました。松本副町長や北郷議長など約50人が参列し、犠牲者の冥福を祈りました。松本副町長は、「犠牲となられた方々の思いを胸に刻み、この震災からの復興を必ずや成し遂げ、町民一丸となって新たな時代の安心・安全な防災に強い「共生のまちづくり」に邁進する」と挨拶しました。

福島県知事への緊急要望を実施



↑内堀知事(右)に要望書を手渡す遠藤町長(左)

3月25日(金)、福島県町村会長である遠藤智町長は、この度の福島県沖地震により、町内において約2千万円の被害、福島県内においても甚大な被害が生じていることを踏まえ、内堀雅雄知事に緊急の要望活動を実施しました。国に対し、災害救助法における応急救助を万全に行うための予算の確保、県に対し、災害救助法の対象とならない一部損壊家屋の修繕等に対する県独自の支援策、東京電力に対し、わかりやすい正確な情報発信などについて要望しました。町は、被害の大きい相馬市・南相馬市に物的支援、断水の被害に見舞われた双葉地方の町村に水の供給、桑折町に3月24日(木)より人的支援を行っております。

広野中学校
「3.11を考える会」を開催



↑後輩に東日本大震災の経験を語る半澤黎斗さん

3月9日(水)、広野町立広野中学校「3.11を考える会」が広野中学校体育館で開催されました。講師には全国高校総体の1500メートルで優勝し、箱根駅伝に出場した早稲田大学4年 競走部部長距離ブロック副主将の半澤 黎斗さんをお招きしました。半澤さんは、小学生や中学生の目線で見た震災当時の現状や苦労などを中学生に伝え、「いろいろなものを見たり聞いたりして視野を広げ、自分が本当にやりたいこと見つけて欲しい」とエールを送りました。

広野こども園
県建築文化賞 優秀賞を受賞



↑相双建設事務所長(右)より表彰状を手渡された遠藤町長(左)

3月3日(木)、第37回福島県建築文化賞の表彰状授与式が南相馬合同庁舎で開催され、広野こども園(ひろばーく)が優秀賞を受賞しました。授与式には、遠藤町長が出席し、相双建設事務所長より表彰状および副賞を手渡されました。軒先を低く造ることで、子どもの目線で海や空や山などの自然を身近に感じられる設計になっており、子どもの世界創り出していることが評価されました。

いわきFCとの「地域創生に関する
パートナーシップ協定」



↑ホーム開幕戦に合わせて行われた協定式

3月20日(日)、プロサッカーチーム「いわきFC」を運営する株式会社いわきスポーツクラブとホームタウン自治体である8市町村が相互に連携を図り、双方の資源を有効に活用した取組みを推進することを目的として、「地域創生に関するパートナーシップ協定」を締結しました。協定式は、J3ホーム開幕戦に合わせて開催され、遠藤町長をはじめとし、各市町村の首長らが協定式に参加しました。